

# カンナ坂だより

第13号

平成20年1月

編集発行

九頭竜厚生事業団  
九頭竜ワークショップ  
広報委員会  
☎0779-87-3003

## 冬まつりの劇 「ゲゲゲの鬼太郎、平泉寺物語り」



### 所長あいさつ

平成二十年テーマ「みんなの協力で自立の一步を」

五十嵐 研治郎



新年あけ  
ましておめ  
でようござ  
います。

新しき年を迎え、年頭のご挨拶  
を申し上げます。

平成二十年、子年、西暦二〇〇  
八年の幕開けです。

今年も、環境元年、エコウォー  
ズのはじまりといわれ、福祉施設  
もその波に洗われることになるで  
しょう。昨年末の冬まつりのとき  
の演劇「もったいない」を合言葉  
に、環境問題に取り組みたいと  
思います。

その他の経費節減などについて  
も、利用者のみなさん、職員のみ  
なさん方とともに、時代の流れ、  
時代に則した施設運営を進めたい  
ので、是非とも協力をお願いしま  
す。

さて、福祉施設では、一昨年施  
行された障害者自立支援法にいか  
に適応していくかが大きな課題で  
あります。既に移行した施設もあ  
りますが、当九頭竜ワークショッ  
プにとっては、今年も、正に新事  
業体系移行元年です。

まず、今進めている療護施設利  
用者のみなさんの障害程度区分認  
定作業を初夏頃までには終え、福  
井事業所完成と同時に療護施設は

新事業体系に移行します。その直  
後から、ここ勝山の療護施設個室  
化等の改修も進めたいと思いま  
す。

授産関係施設については、なる  
べく早い時期に移行できるように、  
この春から計画を立て、諸準備  
を進めたいと思います。

移行を成功させるには、多額の  
資金のほか、利用者のみなさん・  
職員のみなさんの英知と協力が絶  
対必要です。明日の九頭竜ワーク  
ショップ、これからの住み家、活  
動の場を創り出すために、保護者  
の方々のお力添えをいただきなが  
ら、共に力を合わせ、無事移行で  
きてよかったですと語り合えるよう  
に頑張ります。

今年も、利用者のみなさんは、  
それぞれが自立できるように励  
み、職員は、それぞれが専門性を  
高め、尊厳あるケアができるよう  
に努めましょう。

そして、お互い信頼しあい、家  
族のような絆の和が作れるよう、  
お互いに思いやりの心を持って接  
しましょう。

最後になりましたが、みなさん  
方が、明るく元気に過ごせる良き  
年となりますよう祈念し、年頭の  
挨拶と致します。



# 新しく入所した 利用者の方です

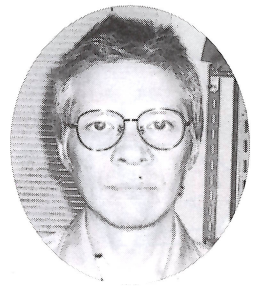
みなさん、仲よく  
してください



**杉本一男さん**  
もっと元気になって、  
作業ができるようになります。  
(平成18年12月)



**高岡宏行さん**  
風邪をひかないように  
気をつけていきたいです。  
(平成18年12月)



**杉本隆一さん**  
健康に気をつけて仕事  
を頑張っていきたいです。  
(平成19年7月)



**宮前正則さん**  
仕事を一生懸命し、み  
んなと仲良くしてい  
きたいです。  
(平成19年5月)



**乾利津子さん**  
友達をたくさん作り、  
仕事をもっと頑張り  
たいです。  
(平成19年5月)



**山下健嗣さん**  
真面目に努力し、ルー  
ルを守り規則正しい生  
活を送っていきたく  
いです。  
(平成18年12月)



**竹内正清さん**  
病気をせずにがんば  
ってゆきたいです。  
(平成19年11月)



**東横綱**  
**高井真佐様**  
(104歳)



**東大関**  
**山口さだ様**  
(99歳)



**東関脇**  
**柴野春子様**  
(97歳)



**西関脇**  
**春木乙子様**  
(97歳)



**西大関**  
**下牧乙子様**  
(98歳)



**東小結**  
**山崎キヨエ様**  
(96歳)



**東前頭1**  
**山口なつ様**  
(96歳)



**東前頭2**  
**向嶋ぶん様**  
(95歳)



**西前頭2**  
**朝国カル様**  
(95歳)



**西前頭1**  
**匿名希望**  
(95歳)



**西小結**  
**駒原みさを様**  
(96歳)

## シルバーケア九頭竜 長寿番付

(H20.1現在)

またまた  
若の者は  
負けなれど  
おどろ





分からないことを  
いろいろ  
教えて下さい

# 新入職員の方々です



今田 健治さん



総務部 次長

創意工夫を仕事に生かし、頑張ります。ヨロシク!!  
(平成19年12月1日)

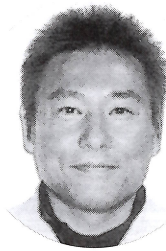
木瀬 雄司さん



総務部 給食係

利用者の方の観察をし、きめ細やかな対応を心掛けます。  
(平成19年2月1日)

山内 貴嗣さん



総務部 施設保全室

いろんなことに挑戦し、笑顔で頑張っていきたいです。  
(平成19年5月1日)

日置 美郷さん



総務部 総務課

時間効率を考え、仕事にムラをなくしたいです。  
(平成19年4月1日)

平野 勇夫さん



福祉就労部 就労第二係

利用者の方たちとの対話を大切にしながら仕事に励んでいきたいです。  
(平成19年7月13日)

西村 まりえさん



総務部 給食係

利用者の方に美味しい食事を提供できるようにがんばりたいです。  
(平成19年4月1日)

島田 絵梨さん



総務部 給食係

利用者の方とのコミュニケーションを深めていきたいです。  
(平成19年4月1日)

安川 聡美さん



障害者介護部 介護第二係

利用者の方に笑顔で接していきたいと思ひます。  
(平成18年11月1日)

古川 めぐみさん



ST

恋人募集中です。実は子持ちですが。  
(平成20年1月1日)

酒井 祐也さん



高齢者介護部 シルバー係

優柔不断な性格を直していきたいと思ひます。  
(平成19年10月10日)

多田 明希子さん



高齢者介護部 シルバー係

積極的に笑顔でがんばってきたいと思ひます。  
(平成19年4月1日)

井尾 幸代さん



高齢者介護部 シルバー係

いつも笑顔を忘れずに頑張りたいです。  
(平成18年12月20日)

## 年男・年女インタビュー

質問 今年の抱負は？

- 朝国カルさん (シルバーケア九頭竜利用者 明治45年生まれ)  
「もう96なるんか、100歳まで元気でいれたらいいのう」
- 小玉俊明さん (身障授産利用者 昭和11年生まれ)  
「70を過ぎて体のあちこちが痛むようになってきましたが、仕事ができ、こづかいをかせげるのもワークにいるおかげ様です」
- 小寺春美さん (療護利用者 昭和23年生まれ)  
「今年還暦を迎えますが、一日一日を健康に過ごしていければいいと思ひます」
- 西川源幸さん (身障授産利用者 昭和35年生まれ)  
「これといった望みはないです。今までと同じように生きていければいいかな」
- 西山秀雄さん (重度授産利用者 昭和47年生まれ)  
「今年は仕事を一生懸命してお金を少しでもためたいです」

永井 圭子さん



高齢者介護部 シルバー係

皆様の名前を覚えようと一生懸命頑張っていますので、お願い致します。  
(平成18年10月15日)

林 敏江さん



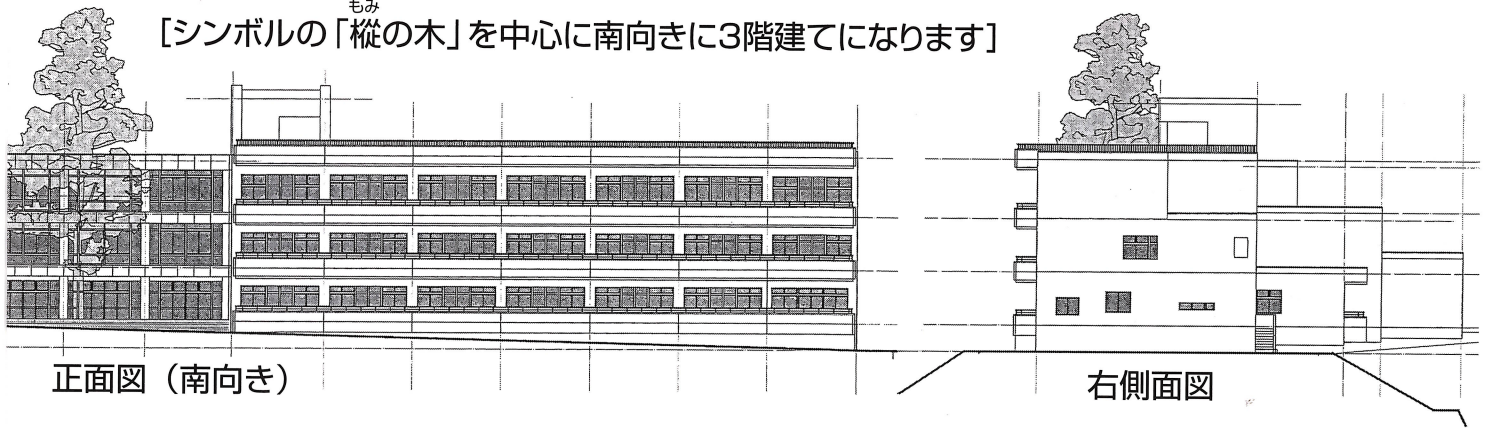
高齢者介護部 シルバー係

年のいった新人ですが、今年も頑張りたいです。  
(平成18年12月14日)



# の建設計画が進んでいます!

【シンボルの「<sup>もみ</sup>縦の木」を中心に南向きに3階建てになります】



正面図 (南向き)

右側面図

現在の「九頭竜ワークショップ療護部」は、昭和五十三年に入所定員五十名で発足いたしました。その後、利用希望者の増加に伴い、現在は、七十名の利用者が生活されております。

しかし、施設は建築以来三十有余年を経て老朽化が目立ち、且つ、二人部屋がほとんどです。この問題を解消すべく、いろいろ検討しておりますが、福井市燈豊町に地元のご協力を得て土地を取得してまいりましたので、平成十八年度より施行されました障害者自立支援法に基づく、「生活介護・施設入所支援事業所」として、四十名を九頭竜ワークショップ療護部から移行し、福井事業所「七瀬の郷」(仮称)を建設整備することと致しました。

幸い新しい建設用地には、泉温六十度以上の温泉が湧出しておりますので、この、「燈豊温泉」と周囲の緑豊かな自然環境を活用し、利用者の方々に、心身ともに癒されるサービスを行いたいと思っております。

また、勝山事業所の「九頭竜ワークショップ療護部」は入所定員三十人となり、全室個室化に改装して、居住環境が向上し、両方あいまって障害者福祉サービス向上が期待されます。

## 福井事業所建設に伴う

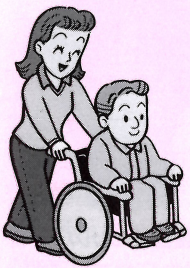
## 障害福祉サービス

### 日中活動と 住まいの場の 組み合わせ

入所施設のサービスを、昼のサービス(日中活動事業)と夜のサービス(居住支援事業)に分けることにより、サービスの組み合わせを選択できます。

事業を利用する際には、利用者一人一人の個別支援計画が作成され、利用目的に合ったサービスが提供されます。

例えば、現在、身体障害者療護施設を利用している、常時介護が必要な方は、日中活動事業の生活介護事業と、居住支援事業の施設入所支援を組み合わせて利用することが出来ます。地域生活に移行した場合でも、日中は生活介護事業を利用し続けることが可能です。



### 日中活動の場

以下から1ないし複数の事業を選択

療養介護\*

生活介護

自立訓練(機能訓練・生活訓練)

就労移行支援

就労継続支援(A型=雇用型、B型)

地域活動支援センター(地域生活支援事業)

※療養介護については、医療機関への入院とあわせて実施

### 住まいの場

障害者支援施設の施設入所支援

または

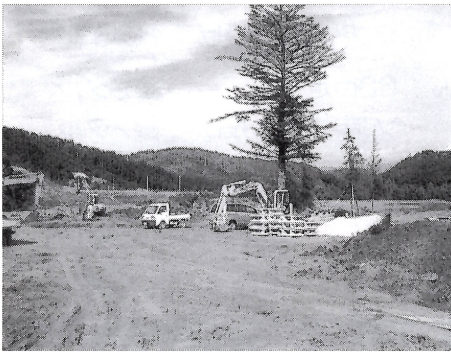
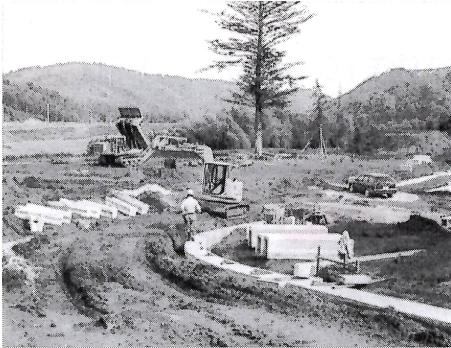
居住支援

(ケアホーム、グループホーム、福祉ホームの機能)

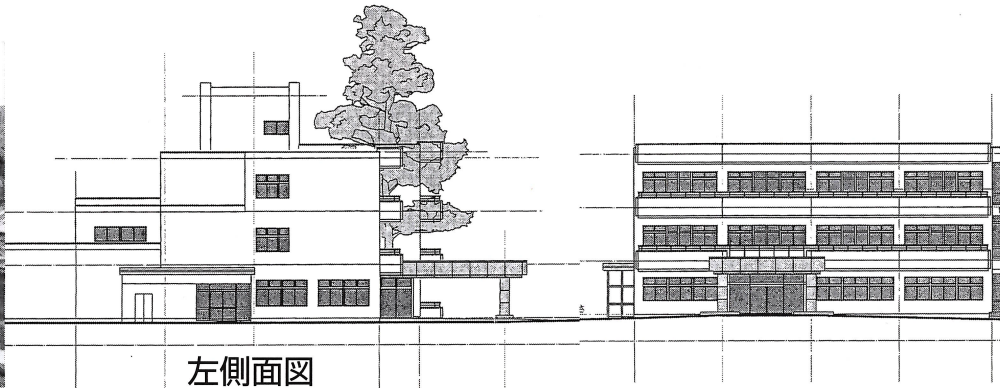
プラス



# 福井事業所「七瀬の郷」(仮称)



造成中の現場写真  
(平成19年11月現在)



左側面図

- 設置場所** 〒910-3452 福井市<sup>とうぶちやう</sup>燈豊町43字才田9番3  
九頭竜ワークショップから西方約50km JR福井駅から西方約15km
- 開設時期** 平成20年秋頃
- 施設種類** 生活介護・施設入所支援(現身体障害者療護施設)
- 定員** 40名
- 施設概要** 建物 鉄骨3階建て 総床面積 約4,000m<sup>2</sup>  
1F 居室16室、浴室、支援員室、事務室 etc  
2F 居室24室、食堂、支援員室 etc  
3F 研修室、会議室 etc  
居室(個室)面積 12m<sup>2</sup>以上/室

## 生活介護

### 利用者

地域や入所施設において、安定した生活を営むため、常時介護等の支援が必要な方。

- ①障害程度区分3(施設へ入所する場合は区分4)以上の方。
- ②年齢が50歳以上の場合は、障害程度区分2(施設へ入所する場合は区分3)以上の方。

### サービス内容等

- 食事や入浴、排せつ等の介護や、日常生活上の支援、生産活動の機会等を提供。
- 利用者の障害程度に応じて、相応しいサービスの提供体制が確保されるよう、事業者ごとの利用者の平均障害程度区分に応じた人員配置の基準を設け、これに応じた報酬単価を設定。
- 利用期間の制限なし。

## 施設入所支援

### 利用者

夜間において、介護が必要な者、通所が困難である自立訓練または就労移行支援の利用者。

- ①生活介護利用者のうち、区分4以上の方(50歳以上の場合は、区分3以上)。
- ②自立訓練または就労移行支援の利用者のうち、地域の社会資源の状況等により、通所することが困難な方。

### サービス内容等

- 夜間における入浴、排せつ等の介護や日常生活上の相談支援等を実施。
- 利用者の障害程度に応じて、相応しいサービスの提供体制が確保されるよう、事業者ごとの利用者の平均障害程度区分に応じた人員配置の基準を設け、これに応じた報酬単価を設定。
- 生活介護の利用者は、利用期間の制限なし。自立訓練及び就労移行支援の利用者は、当該サービスの利用期間に限定。



# 第7回全国障害者スポーツ大会に参加して

## 秋田わか杉大会

きっと出会える！夢と感動 2007年(平成19年)10月13日～15日



### 鷺田 和正さん

ずーっと夢だった国体については行きたいと思っていました。国体には生まれて初めて参加しましたが、何度も経験できないと思います。ソフトボール投げと200mに出場して、ソフトボール投げでは3位、200mでは2位の成績でした。競技に出場している時に、観覧席から他県の人や福井県選手団の人が応援してくれて、とっても励みになり、みんなのお陰で頑張ることができ、メダルをとることができたと思います。見知らぬ人に「おめでとう」と言ってもらえ嬉しかったし、いろんな人との交流ができ、温かみを感じることができて楽しいひとときでした。皆さん応援ありがとうございました。



### 黒田 遼さん

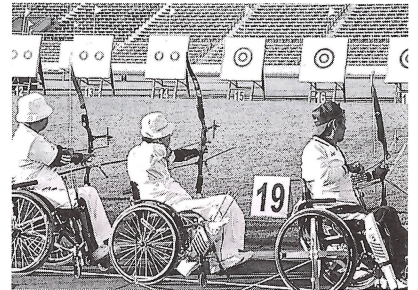
今回、秋田県という遠方に全国障害者スポーツ大会の付き添いとして参加させて頂きました。3名の利用者の方の付き添いということで、当初は不安もありましたが、3名とも体調を崩すこともなく競技され、メダルを持ち帰ることができ、本当によかったと思います。ただ、介助面では心配りが足りなかったと反省点もあり、これを活かして今後の業務に励んでいこうと思います。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

## 結果報告

植村 美義さん	アーチェリー	金メダル
鷺田 和正さん	200m走	銀メダル
	ソフトボール投げ	銅メダル
水野 啓子さん	60m走	金メダル
	ソフトボール投げ	銀メダル

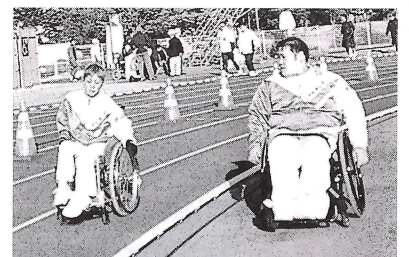
### 植村 美義さん

この大会に参加するにあたり、私にはいくつかの課題と不安がありましたが、アーチェリーの仲間や、協力して下さった皆さんのおかげで参加することができました。皇太子殿下をはじめ、来賓の皆様、スタンドに来てくださった多くの方々の前を、福井県のユニフォームを着て行進するのは、誇らしく、気持ちが高揚し、貴重な体験ができました。そんな大会に送り出してくださいました皆様に感謝申し上げ、報告とさせていただきます。ありがとうございました。



### 水野 啓子さん

秋田わか杉国体出場が決まって、9月から一ヶ月間毎日、鷺田さんと職員の黒田さんと体育館で練習を重ねてきた結果、60m走で金メダル、ソフトボール投げで銀メダルを獲得することができました。同じ福井選手の人たちとも仲良くでき、また、秋田県の人ともたくさん交流がもて、とてもよかったです。良い思い出になりました。けがもなく元気に帰ってこれたことに感謝しています。ありがとうございました。



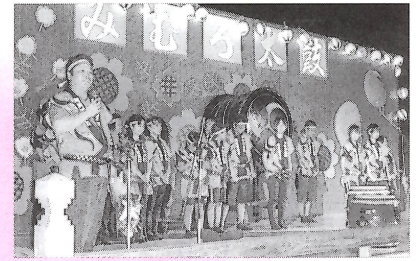


# 8/8 第30回 夏まつり 祭

天候の影響で、延期となり8月8日に規模を縮小して開催しました。



シルバー入所の方と職員とでお化粧して踊りました。



みむろ太鼓の力強い音色が夜空に響きわたっていました。



# 12/9 第30回 冬まつり



毎週みんなで頑張って練習してきました。



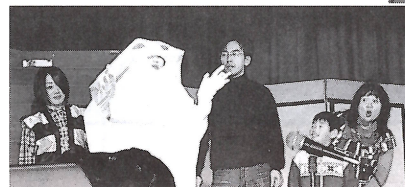
平泉寺小学校の方と共にメロディーを手話で奏でます。



4名の方が善行表彰をうけられました。



この妊婦さんは誰でしょう？



今大人気の鬼太郎との共演！！



坪田バレエの華麗なる舞い

## 祝 白寿・米寿



**白寿** シルバー入所者  
山口 さださん



**米寿** デイサービス利用者  
木村 あき枝さん

シルバー入所者  
山口 守さん

デイサービス利用者  
酒井 すへをさん

## 今年も西武ライオンズの正津投手が来られました





ごあいさつ



保護者会会長 辻 憲 治

皆様、新年明けましておめでとうございます。

私、此の度、九頭竜ワークショップ保護者会の会長をさせていただくことになりました、辻憲治と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

今年は一昨年より施行されております、自立支援法の具体化に伴い、我々にとっては、すぐに理解できない問題が次から次へと出てきていくようです。法律は国の機関が決定することですが、少しでも我々の生活面において負担を少なくし、また、何よりも入所者の方々がこれからも、豊かで安心して暮らせるように、保護者として働きかけをしなければいけないと思っております。それには何としても、皆様の絶大なご協力が必要となりますので、これから貴重なご意見、ご指導を賜りますようお願い致します。

私は、息子がこの九頭竜ワークショップにお世話になるまでに、色々な施設を見学させていただきましたが、他にこれほど素晴らしい施設は無いと言っても過言ではないと思えました。今でも入所させていたいただき、本当に良かったと思っております。特に、五十嵐理事長様には色々なことを教えられました。と申しますのは、恥ずかしい話ですが私自身、これまで、自然のありがたさを思うことなく生活してききました。

ところが、海水浴行事に参加させてもらった時、理事長あいさつに「冷たい海の水が太陽によって、水蒸気となり、それがまた雲になり風に吹かれて山などに雨を降らせ、我々の大切な飲み水や生活用水に、そして山々の樹木を育て、地下に蓄えられてまた海に戻ってくる。そういった海に感謝しながら楽しく水と触れ合ってください。」と言われた言葉を聞いた時、なんと素晴らしいあいさつをされる所長（理事長）さんだと思ひ、この施設に息子をあずけて本当に良かったと感激しています。おそらく、皆さんも同じ想いなのではないでしょうか。一昨年より施行されております、自立支援法の具体化に伴い、我々にとっては、すぐに理解できない問題が次から次へと出てきていくようです。法律は国の機関が決定することですが、少しでも我々の生活面において負担を少なくし、また、何よりも入所者の方々がこれからも、豊かで安心して暮らせるように、保護者として働きかけをしなければいけないと思っております。それには何としても、皆様の絶大なご協力が必要となりますので、これから貴重なご意見、ご指導を賜りますようお願い致します。

ボランティア紹介



阪谷小学校の児童さんが交流に来てくれました



さくらんぼの会のみなさんです 毎月1回ラウンジのお手伝いに来て下さっています。

九頭竜ワークショップ 俳遊会

伝説の麻那姫像を雪圍い峰々は奥より順に山眠る 手際よし新そば打ちの技のあり 雪近き荒島おろしに木の葉舞う 年賀状あいつに出すなら先ずこいつ 越前焼褒め茶会の冬座敷



- 山下 悦子
- 南 健治
- 木村 唯志
- 五十嵐俊夫
- 古井 光生
- 松浦 とし

霜の花山々空を揚げけり 大仏のすずを払いし大師走 電飾に夢写しみるクリスマス 月を待つ輪となり睦む車椅子

- 笠羽 俊介
- 小寺 春美
- 市原きみよ
- 荒井 微風



寄付金・寄贈品 ありがとうございます

寄付金

- 手塚 須恵子様
- 正津 英志様

寄贈品

- 勝山郵便局様
- 勝山市退職公務員連盟様
- 社団法人 日本レコード協会様
- 勝山市立勝山公民館 「せいき塾」様
- 日本カイロ工業会様
- 山内 長吉様
- 沢田 敏夫様
- 上山 信子様

クラブ紹介 手話クラブ

クラブでは私たちが何度も悪戦苦闘しながら手話をしていても思いを伝えるのは難しく、相手は「(手話の意味が)分からない」と返してくることがしばしばです。先日行われた冬まつりでは、平泉寺小学校の児童の皆さんと、ワークショップ手話クラブが合同で手話コースの発表を行いました。手話を通して歌を披露したのですが、この時は自分達の思いが会場の皆さんの心に伝わったような気がしました。まだまだ手話は未熟ですが、今後は手話コースのみならず、新しい手話を用いたコミュニケーションや外部のろうあの方との交流などを中心に活動を進めていきたいと思ひます。

